

「スペキュレーションの会の御案内」

山野浩一

当社（注・N W I S F社）では実験的な会合を開催いたしております。この会は参加者個人の内宇宙だけのために行われるもので、「他者」や「集団」との関係に於いて行われる討論会ではありません。つまり、いかなる結論を持つとうとするものでもなく、いかなる合意にも到達しようとするものもなく、いっさいの記録も残さず、ただ参加者が喋り、聞くということだけが個人的に存在し、そこに思弁活動があるだけです。従って会としてはそこで「何も起らなかった」のであり、個人的な内宇宙にだけ「何か起っているかも知れない」のであります。

参加者にとってこの会は個人的な意味しかなく、参加した他人との友好を深めようとしたり、会に集った人々の集団に興味をもったりすることはできず、いっさいの現実的価値はありません。いわばシュールレアリスティックな会合であります。

会には次のようなルールがあります。

1…開会中の出入りは原則としてできません。

2…タバコ、酒、薬、書物、ノートなど個人的思弁に必要なものは持ち込めますが、

テープレコーダー、カメラ、盗聴器などは持ち込めません。

3 .. 他人の発言の難解さに対し抗議できず、また他人の発言を間違いとみなすことはできません。(1+1=3といえどそう理解しなければなりません)

4 .. 発言は思弁的に行わねばならず、完全に了解済みのことを述べることはできません。

5 .. 以上のルールのために、議長の独裁が許されず。

6 .. 会の終了後、会でいかなることが起こったとか、いかなる発言があったというようなことを認めることは誰もできません。会には原則的に参加者が個人的に参加し、個人的に思弁が行われただけであることを認識しなければならず、のちに裁判所、国会などに於いて証言の必要があった場合にも、この理論は犯せません。

前回の第0回に続き、4月中に第1回スピーキュレーションの会を開きます。参加希望者は4月5日までに往復葉書でお申込み下さい。会費は無料です。第1回のテーマは、「J・G・バラード」ですが、本当のテーマは各個人の内的に存在するものであり、バラードを読んでなくとも結構です。

この会に参加することを友人と相談したり、友人にさそいをかけたりすることなく、あくまで個人的に申し込みが行われることを望みます。